

名古屋駅周辺まちづくりの現在の状況

令和7年4月
名古屋市



目 次

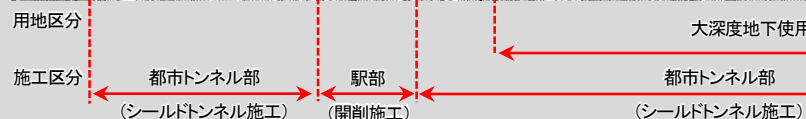
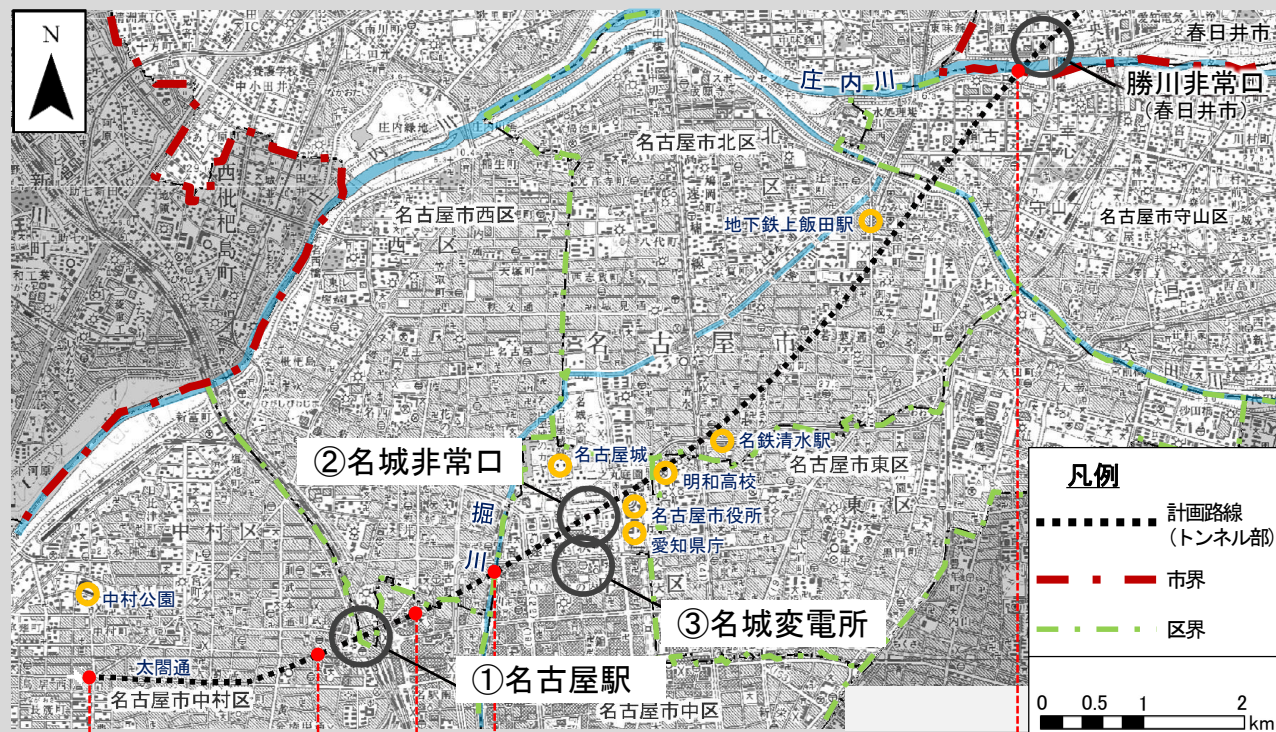
1. これまでの経緯	．．．．	2
2. リニア中央新幹線に関する動き	．．．．	3
3. 名古屋駅周辺まちづくりに関する動き	．．．．	5
(1) リニア駅周辺の面的整備	．．．．	6
(2) 名古屋駅駅前広場周辺の再整備	．．．．	9
・ 東側駅前広場	．．．．	10
・ 西側駅前広場	．．．．	14
(3) 名駅南まちづくりの推進	．．．．	18
(4) ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善	．．．．	19
(5) 名古屋駅とのアクセス性向上（高速道路）	．．．．	21
4. 関連プロジェクト	．．．．	23
(1) 地域ごとの特色を活かしたまちづくり	．．．．	24
(2) 名古屋駅周辺の防災性の向上	．．．．	26
(3) 都市機能の強化	．．．．	27
(4) 新たな路面公共交通システムS R Tの導入	．．．．	29

1. これまでの経緯

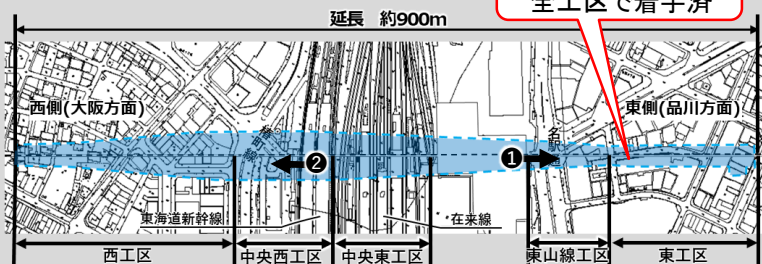
	リニア中央新幹線	名古屋駅周辺まちづくり
H26 ～ R1	● 工事実施計画（その1）認可（H26.10） ● 用地協定締結（H27.1） ● 名城非常口工事着工（H28.6） ● 名古屋駅（駅中央部）工事着工（H28.12） ● 工事実施計画（その2）認可（H30.3） ● 大深度地下使用認可（H30.10） ● 名城変電所工事着工（H30.12）	● 名古屋駅周辺まちづくり構想策定（H26.9） ● 名古屋駅周辺交通基盤整備方針策定（H30.3） ● リニア駅周辺のまちづくりの方向性（中間とりまとめ）及び名古屋駅駅前広場の再整備プラン（中間とりまとめ）策定（H31.1）
R2	● 名古屋駅（東山線工区）工事着工（R2.2） ● 名古屋駅（西工区）工事着工（R2.7）	● 東側駅前広場地上部の都市計画変更（R2.3） ● 名古屋高速道路の新黄金出入口及び新洲崎出入口の都市計画変更（R2.3）、事業認可取得（R2.10）
R3	● 名古屋駅（東工区）工事着工（R3.6） ● シールドトンネル工事 安全・安心等の取組み説明会（R3.9）	● 名古屋高速道路の栄出入口、西渡り線・南渡り線等の都市計画変更（R3.3）、事業認可取得（R3.10）
R4	● 名城非常口工事完成（R4.7） ● シールド機組立等工事着手（R4.7）	● 西側駅前広場のデザイン計画策定（R4.12）
R5	● 工事実施計画（その3）認可（R5.12）	● 東側駅前広場地下部の都市計画変更（R5.12）
R6	● シールド掘進工事説明会（調査掘進等）（R6.1） ● シールド掘進工事（調査掘進）着手（R6.4）	● 西側駅前広場の整備計画公表（R6.2） ● 名駅南まちづくり方針策定（R6.3）

2. リニア中央新幹線に関する動き

■名古屋市内におけるリニア中央新幹線建設の状況



名古屋駅新設工事
全工区で着手済



※水色の網掛けは、駅の概ねの範囲を示すもの

用地取得の状況

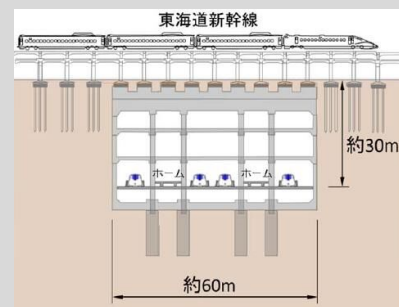
- 駅部
…駅東側・西側ともに取得完了
駅工事(全5工区)で工事着手
- 都市トンネル部
…区分地上権設定を実施中
(大深度地下使用区間等除く)



① 名古屋駅東側の状況(令和7年2月)



② 名古屋駅西側の状況(令和7年2月)



出典：JR東海 中央新幹線名古屋駅新設工事における
環境保全について(令和3年6月更新)

■工事の状況

①名古屋駅

○概要

リニア中央新幹線名古屋駅の建設

○工事状況

- ・東工区 : 地中連続壁工事を実施中
- ・東山線工区 : 工事用立坑・路面覆工等の工事を実施中
- ・中央東工区 : 地中連続壁工事を実施中
- ・中央西工区 : 新幹線高架橋仮受替・路面覆工等の工事を実施中
- ・西工区 : 地中連続壁・路面覆工等の工事を実施中



(出典: JR東海HP)

【東山線工区】

(令和6年12月)



(出典: JR東海HP)

【中央東工区】

(令和6年12月)



(出典: JR東海HP)

【中央西工区】

(令和6年12月)



(出典: JR東海HP)

【西工区】

(令和6年12月)

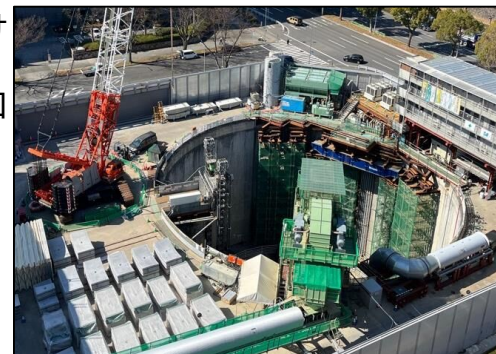
②名城非常口（発進立坑）

○概要

- ・名城東小公園跡地における非常口の建設
- ・名古屋駅及び勝川非常口へのトンネルの敷設

○工事状況

- ・非常口工事完成
(令和4年7月)
- ・シールドトンネル工事
(調査掘進) に着手
(令和6年4月)
- ・現在は勝川非常口に向けて掘進中



シールドトンネル工事（調査掘進）
(令和7年2月)

③名城変電所

○概要

- ・愛知県産業貿易館本館跡地における変電所の建設
- ・名城非常口への電気洞道の敷設

○工事状況

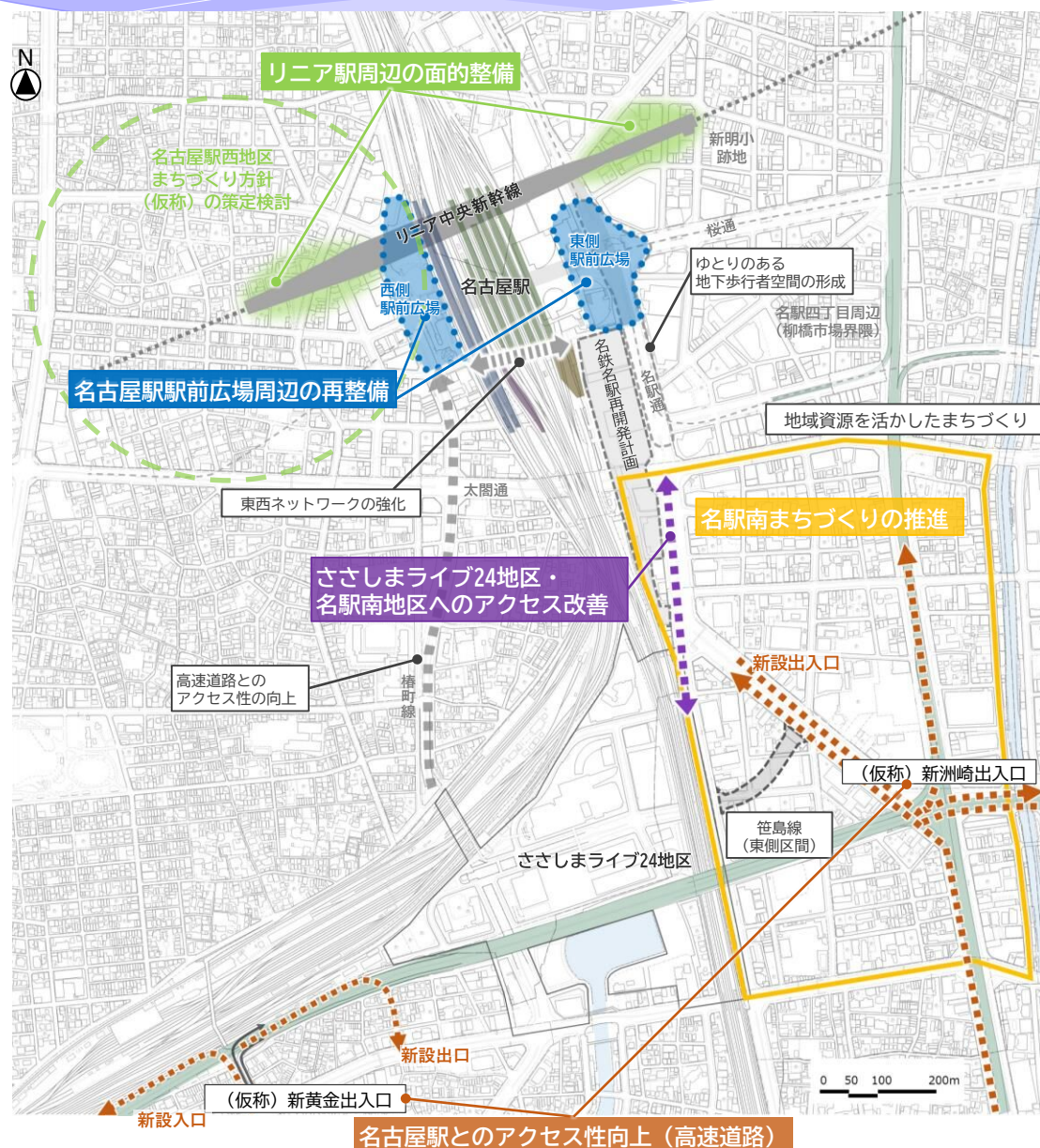
- ・地上躯体工事完了
- ・電気設備工事を実施中



(出典: JR東海HP)

地上躯体工事完了 (令和5年3月)

3. 名古屋駅周辺まちづくりに関する動き



リニア駅周辺の面的整備

P.6~8

- ・まちづくりを地域や関係者と連携・協力し推進
- ・名古屋駅西地区まちづくり方針（仮称）の策定検討

名古屋駅駅前広場周辺の再整備

P.9~17

- **東側駅前広場**
 - ・デザインチームと共に、デザイン計画を作成
- **西側駅前広場**
 - ・リニア中央新幹線開業時の姿について、本格工事に着手
 - ・リニア中央新幹線開業後のできる限り早期に、重層的な拠点の形成

名駅南まちづくりの推進

P.18

- ・名駅南まちづくり方針をもとに、ウォーカブルなまちづくりを推進

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善

P.19~20

- ・地下公共空間の事業着手に向けた調整等を実施中

名古屋駅とのアクセス性向上（高速道路）

P.21~22

- **（仮称）新洲崎出入口、（仮称）新黄金出入口**
 - ・都市計画事業認可を取得（R2.10）
- **（仮称）栄出入口、丸田町JCT西渡り線・南渡り線**
 - ・都市計画事業認可を取得（R3.10）

3-(1) リニア駅周辺の面的整備

■事業概要

リニア駅上部空間を、広場利用を主とした公共的空間として活用するとともに、それらに伴う道路の再配置、また、周辺街区の開発誘導や土地の高度利用促進などを図ることにより、まちの顔づくり・拠点づくり、防災性向上を面的に進める

■目標とするまちの姿

人々が集い、憩い、交流する広場が中心にあるまち

■リニア駅上部空間の計画検討状況図

西地区



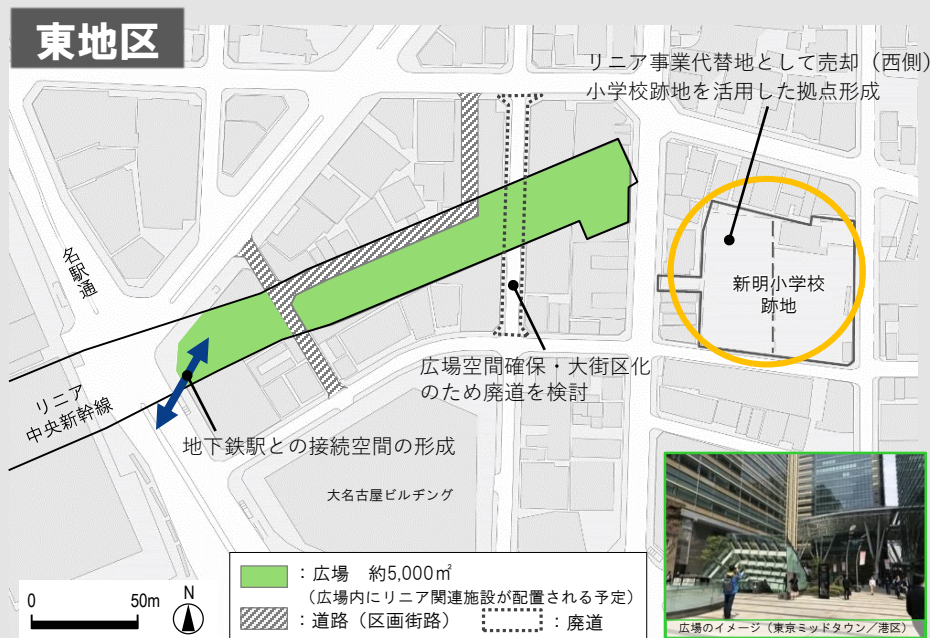
- (注) 1 結節軸とは、名古屋駅西側エリアの回遊の起点である駅前広場とまちをつなぎ、回遊性を形成する軸線をいう。
2 リニア関連施設は、できる限り広場空間と調和するように配置
3 ※印箇所にはリニア関連施設が配置される場合は、広場としない可能性あり
4 今後の関係者との調整により、広場面積、道路配置・幅員について変更の可能性あり

<広場計画コンセプト>

- ・筈通りより東は、イベントなどによりにぎわいのある空間を形成する
- ・筈通りより西は、周辺住宅街や椿神明社と調和した緑あふれる空間を形成する



東地区



- (注) 1 リニア関連施設は、できる限り広場空間と調和するように配置
2 今後の関係者との調整により、広場面積、道路配置・幅員について変更の可能性あり

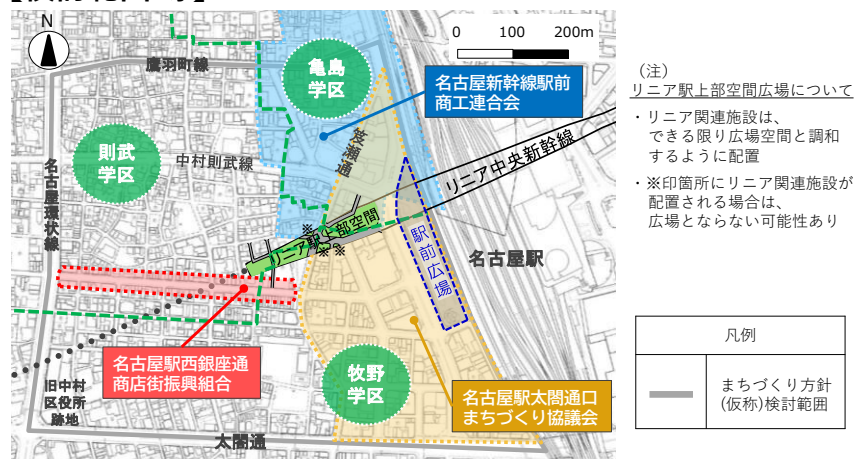
<広場計画コンセプト>

- ・広場から周辺のまちへと人が回遊するような、魅力的なプロムナード空間を形成する

■名古屋駅西地区まちづくり方針（仮称）の策定検討

- リニア中央新幹線の整備等を契機として、めざすまちの将来像の実現に向けて公民が連携・協力したまちづくりを推進していくため、地域・行政等の関係者で構成する名古屋駅西地区まちづくり推進会議（エキニシタウン会議）において意見交換等を行いながら、名古屋駅西地区まちづくり方針（仮称）の策定に向けて検討を進めている。

【検討範囲 等】



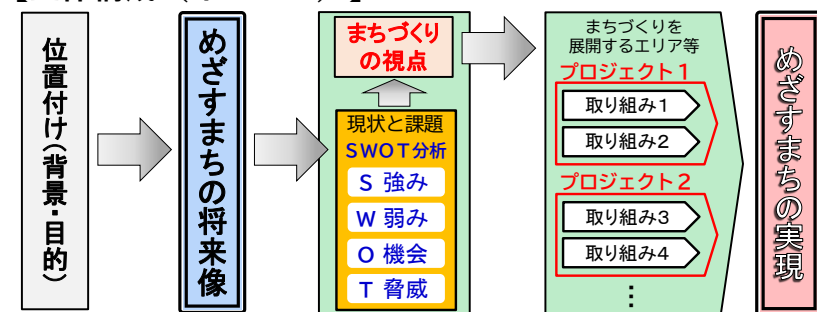
【エキニシタウン会議 構成メンバー】

3 学区（牧野・則武・亀島）、3 団体（名古屋駅太閤通口まちづくり協議会・名古屋駅西銀座通商店街振興組合・名古屋新幹線駅前商工連合会）、警察、アドバイザー、市関係部局 + 事務局

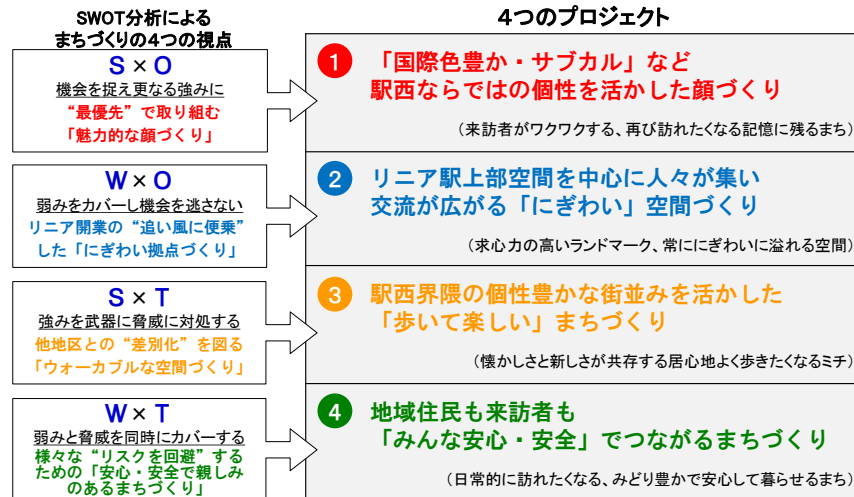
【検討部会】

- ・にぎわい部会 ・安心安全部会 ・ストリート検討部会
- ・まちづくり方針検討部会（R6.5設立）

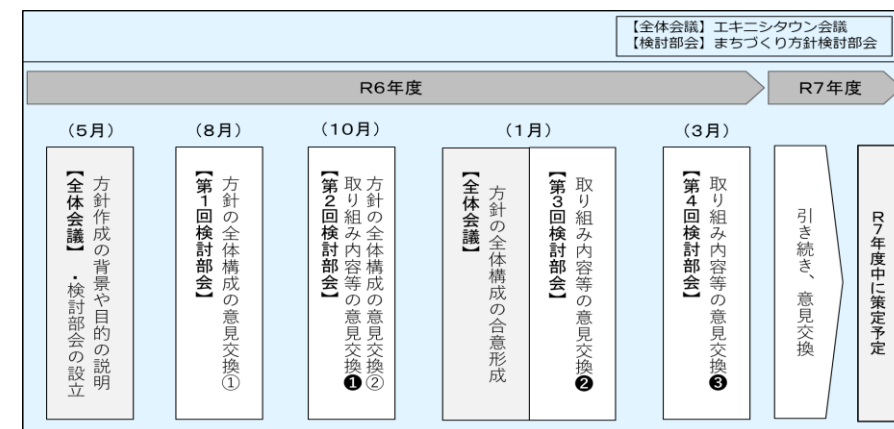
【全体構成（イメージ）】



【検討内容（4つのプロジェクト）】



【策定スケジュール】



■まちづくりの取り組み

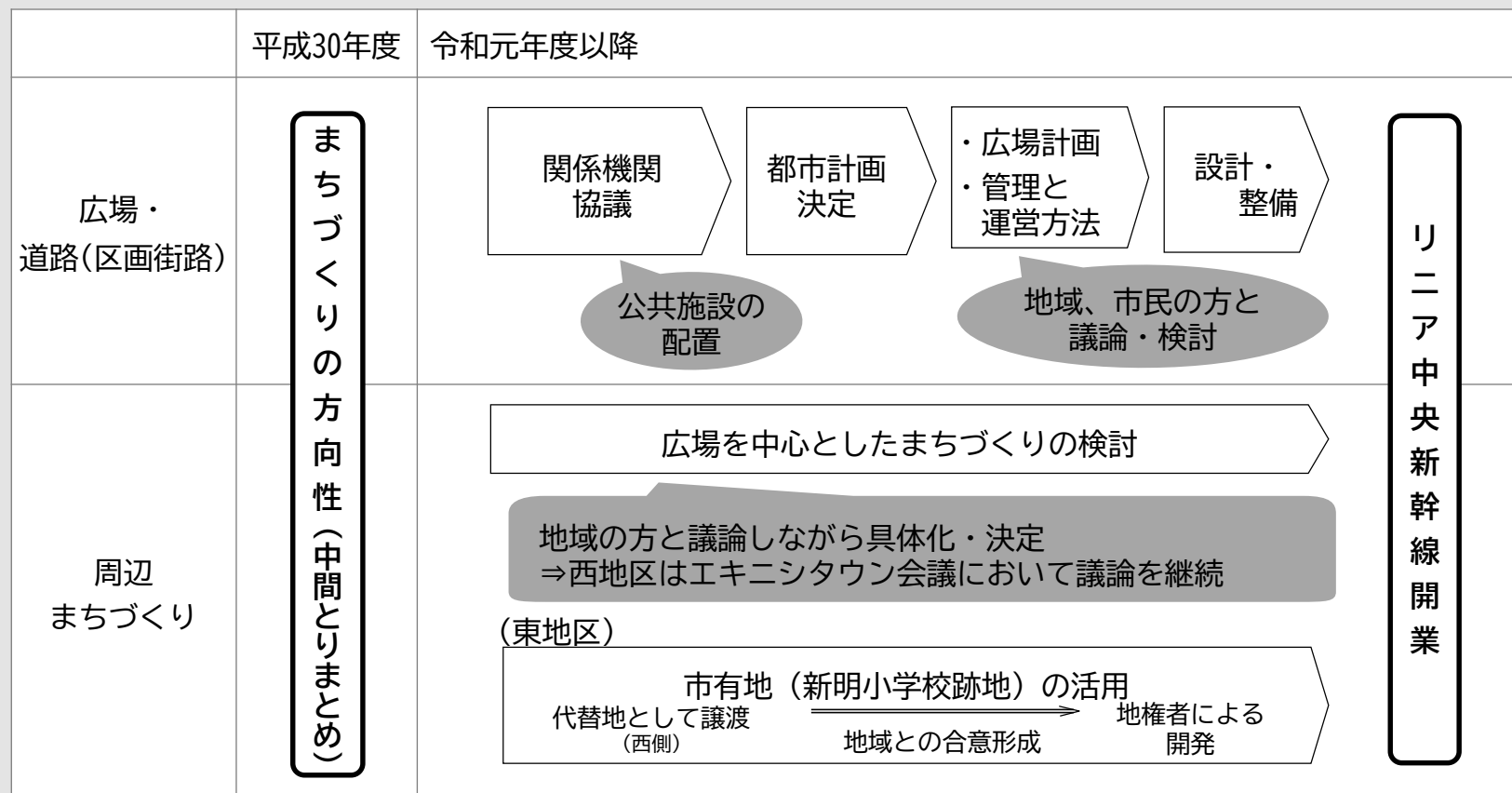
リニア駅上部空間の整備

- ・リニア駅上部空間を広場として活用し、にぎわい創出や緑を活かした魅力向上を図るとともに、防災機能を確保
- ・まとまりのある広場空間の確保、周辺の無接道敷地の解消、土地の集約・整形による魅力づくりなどの観点から、道路を再配置

周辺まちづくり

- ・【西地区】名古屋駅西地区まちづくり推進会議（エキニシタウン会議）にて、まちの将来像等について検討
- ・【東地区】新明小学校跡地に民間の力を活用し、地域の交流・防災拠点やビジネス拠点となる空間を検討

■進め方



3-(2) 名古屋駅駅前広場周辺の再整備

■ 整備の基本的な考え方

スーパーターミナル駅にふさわしい高い機能性の発揮と

デスティネーション
ランドマーク
世界の目的地となる名古屋の新しい顔づくり

乗換利便性を向上させる
「ターミナルスクエア」の整備

総合交通結節機能
の充実と再編

大規模地震等に備えた
防災性の高い空間の確保

「名古屋の新しい顔」として
生まれ変わる駅前広場

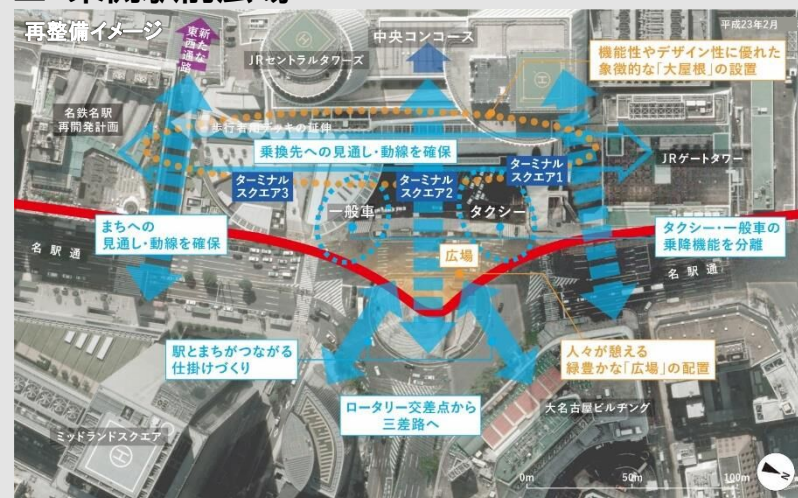
名古屋らしさ、文化の
体験と情報発信

駅前広場からまちへの波及

ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成

※名古屋駅駅前広場の再整備プラン（中間とりまとめ）平成31年1月策定

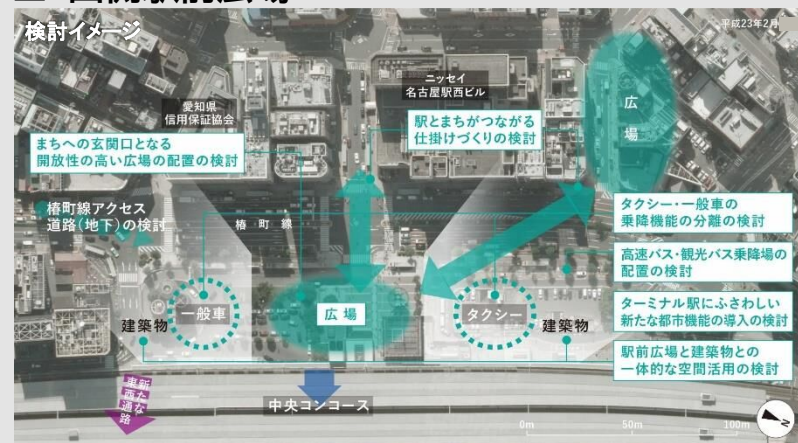
■ 東側駅前広場



※交通施設、昇降施設、屋根等の施設の規模や配置等については、今後引き続き関係者等と協議、調整を進めていく。

※駅前広場内に、交番、案内所、店舗等を配置することを検討中。

■ 西側駅前広場



※駅前広場と建築物との一体的な空間活用を仮定した場合のイメージ。

※交通施設等の施設の規模や配置等については、今後引き続き関係者等と協議、調整を進めていく。

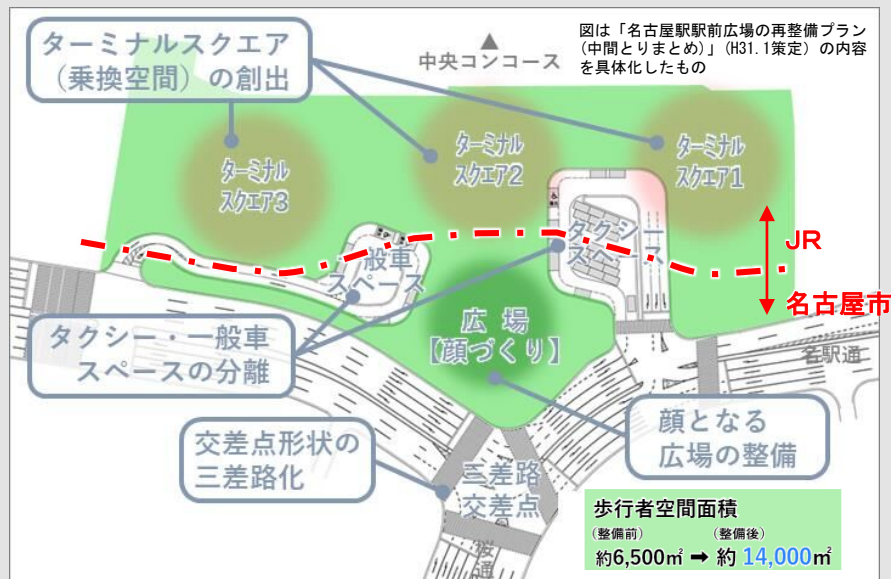
※駅前広場内に、昇降施設、自転車駐車場等を配置することを検討中。

3-(2) 名古屋駅駅前広場周辺の再整備（東側駅前広場）

■地上部の整備内容等

- ・ ロータリー交差点の改良などを行い、「飛翔」の位置まで広場を広げ、まちにつながる歩行者空間、乗換空間等の整備を図る
- ・ デザインチームとともに、再整備する駅前広場のコンセプトや施設の配置等を定める「東側駅前広場デザイン計画」を作成中

■整備内容



※道路の詳細構造、施設の配置や規模等については、関係者との調整により今後変更することがある。
※「新たな路面公共交通システムSRT」と整合を図りつつ、乗降・待合空間の配置について検討を行っている。
※ターミナルスクエア3については名鉄名駅再開発計画との整合等が必要。

■ターミナルスクエア（乗換空間）

乗換先など各方面が
一目で見渡せ、
上下移動も円滑にでき、
案内機能も備えた
わかりやすい乗換空間

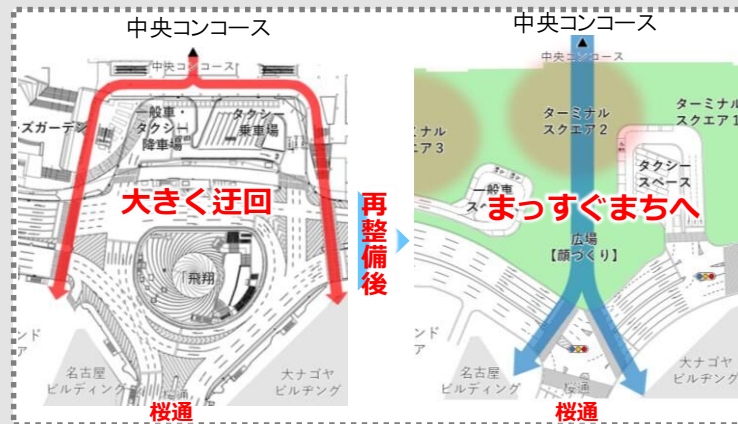


※「名古屋駅周辺交通基盤整備方針」(H30.3策定) より

■歩行者空間拡大のイメージ



■駅からまちへの動線



■デザインチーム

<代表者>

(株)内藤廣建築設計事務所
(代表取締役 内藤 廣)



内藤 廣 氏

(有)小野寺康都市設計事務所
(取締役代表 小野寺 康)



小野寺 康 氏

ナグモデザイン事務所
(代表 南雲 勝志)



南雲勝志 氏

パシフィック
コンサルタンツ(株)

■ 地下部の整備イメージ等

わかりやすく視認性の高い歩行者空間やゆとりある地下広場を確保するとともに、防災性、安全性の向上を図る

(検討状況)

- ・ 地上と地下をつなぐ昇降施設の構造的な検討
- ・ 地下街店舗・設備の移設などの機能確保の検討・調整
- ・ 地上へ直接避難できる階段等による防災性・安全性の向上の検討
- ・ 地下部の都市計画変更 (R5.12)

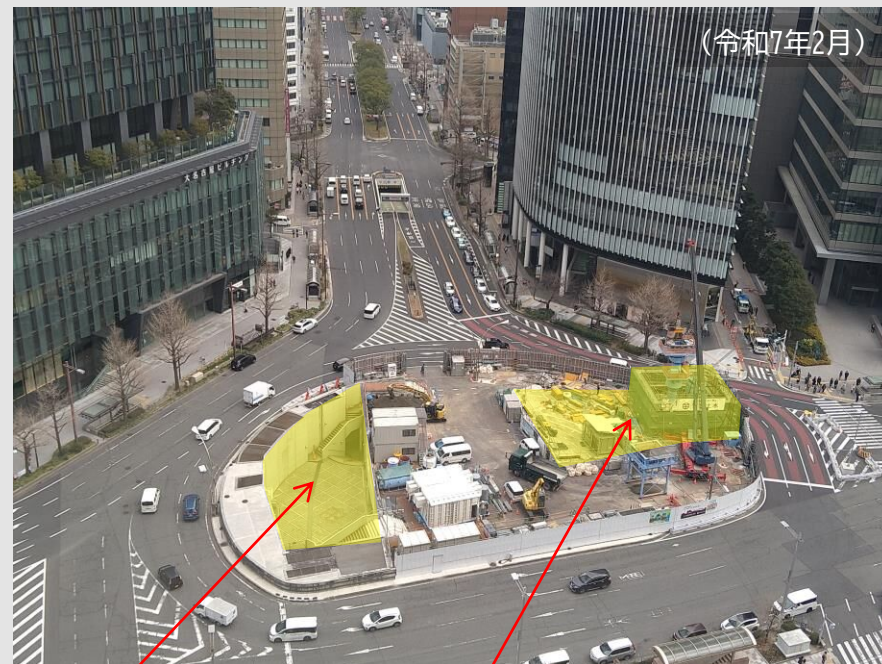
(整備イメージ)



※「名古屋駅前広場の再整備プラン（中間とりまとめ）」（H31.1策定）より

■ 現在の工事の状況

- ・ 現在のロータリー交差点部分まで歩行者空間を広げるため、順次工事を実施
- ・ モニュメント「飛翔」の解体工事はR5.9に完了し、現在は地下にある名駅前ポンプ所を工事中
- ・ 今後、吹抜け広場の屋内化工事に着手予定



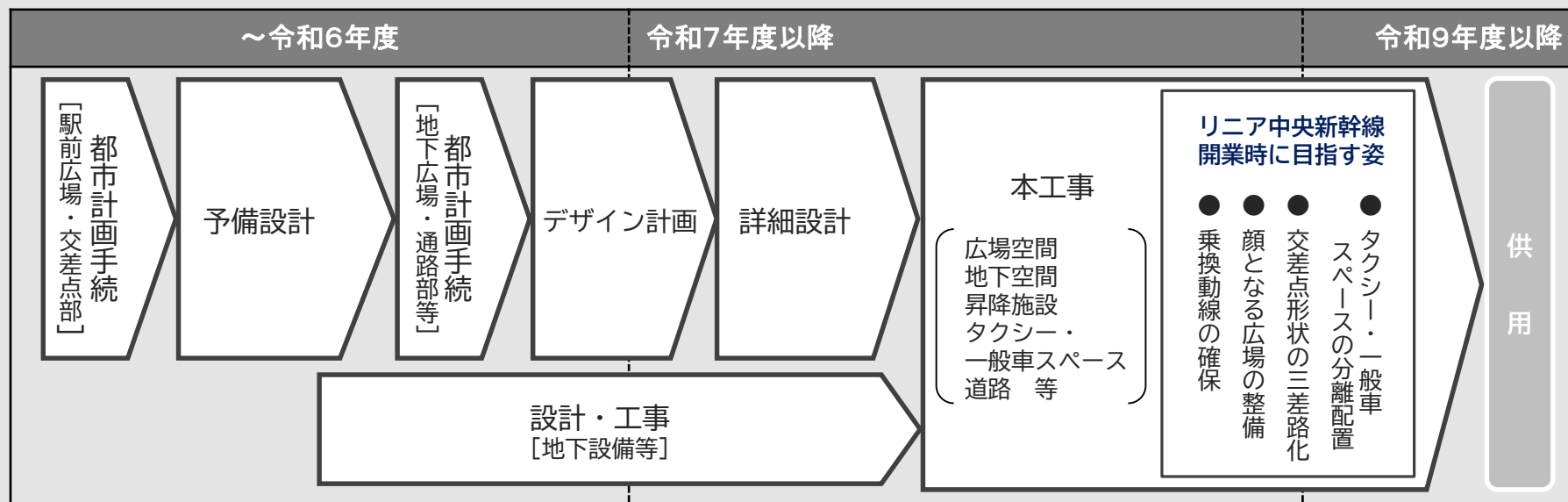
吹抜け広場

名駅前ポンプ所（工事中）

■ 今後の進め方（東側駅前広場）

- ・ターミナルスクエア2とその周辺は、リニア中央新幹線の開業に向けて、交差点の三差路化、タクシー・一般車スペースの分離配置に向けた整備を着実に進めていく
- ・ターミナルスクエア3は、名鉄名駅再開発計画の動向を注視しつつ、引き続き関係機関と調整することで、早期完成を目指す

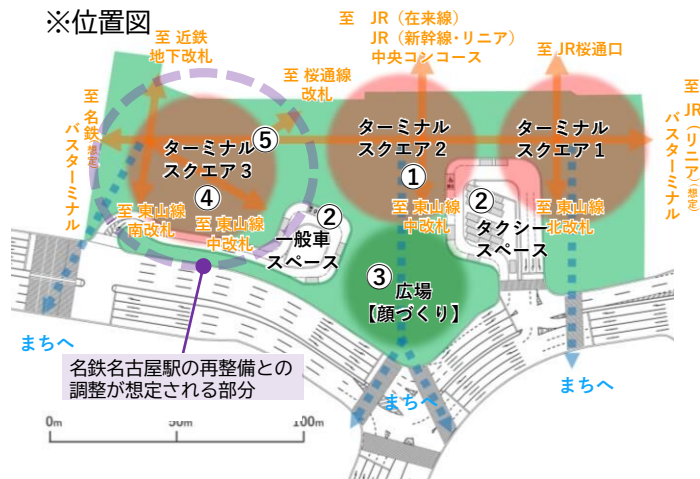
■ スケジュール（東側駅前広場）



参考

◆ ターミナルスクエアの主な役割

※位置図



(ターミナルスクエア2及びその周辺)

- ① 中央コンコースから地下鉄東山線等やまちへの動線や見通しの確保
- ② タクシー・一般車スペースの分離配置
- ③ 地上の歩行者空間を拡充し、名古屋らしさを感じられる「顔」となる空間の確保

(ターミナルスクエア3)

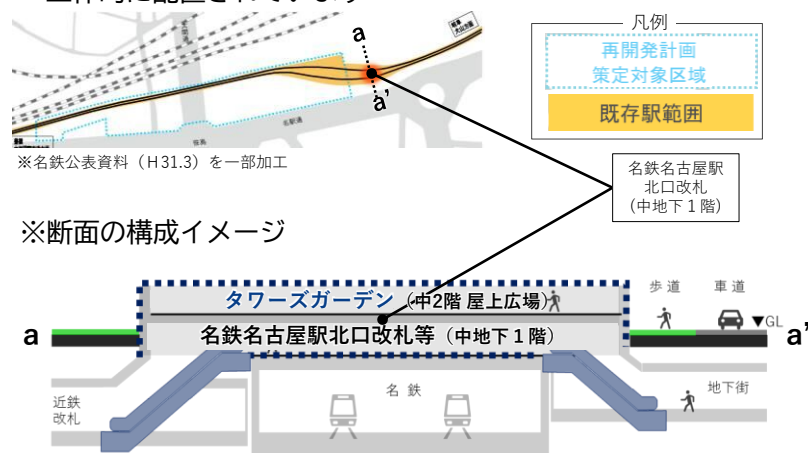
- ④ 地上の歩行者空間を拡充し、わかりやすく快適な乗換空間の確保
- ⑤ 中央コンコースから名鉄・近鉄等やまちへの動線や見通しの確保

(注) 名鉄名古屋駅の再整備とは、名鉄が令和7年3月に公表した名古屋駅地区再開発計画概要における4線化をはじめとする名鉄名古屋駅の再整備をいう

◆ 名鉄名古屋再開発計画とターミナルスクエア3との関係

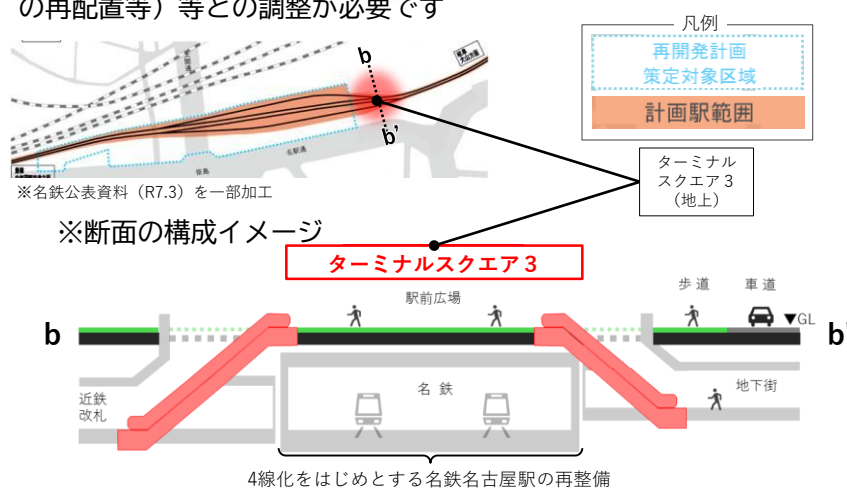
【現況】

名鉄鉄道函体、名鉄名古屋駅北口改札等、タワーズガーデンが立体的に配置されています



【将来】

ターミナルスクエア3の整備にあたっては、タワーズガーデンの撤去や名鉄名古屋駅の再整備（4線化や名鉄名古屋駅北口改札機能の再配置等）等との調整が必要です



3-(2) 名古屋駅駅前広場周辺の再整備（西側駅前広場）

■ 基本的な考え方

【 リニア中央新幹線開業時の姿 】

リニア中央新幹線開業時を目指して、早期にリニア効果が発現できるように、必要な交通結節機能の確保と空間形成を行う。そのために、当面、駅前広場は平面レベルの限られた空間の中で機能確保を行う。

【 西側エリアの目指す姿 】 → P.17

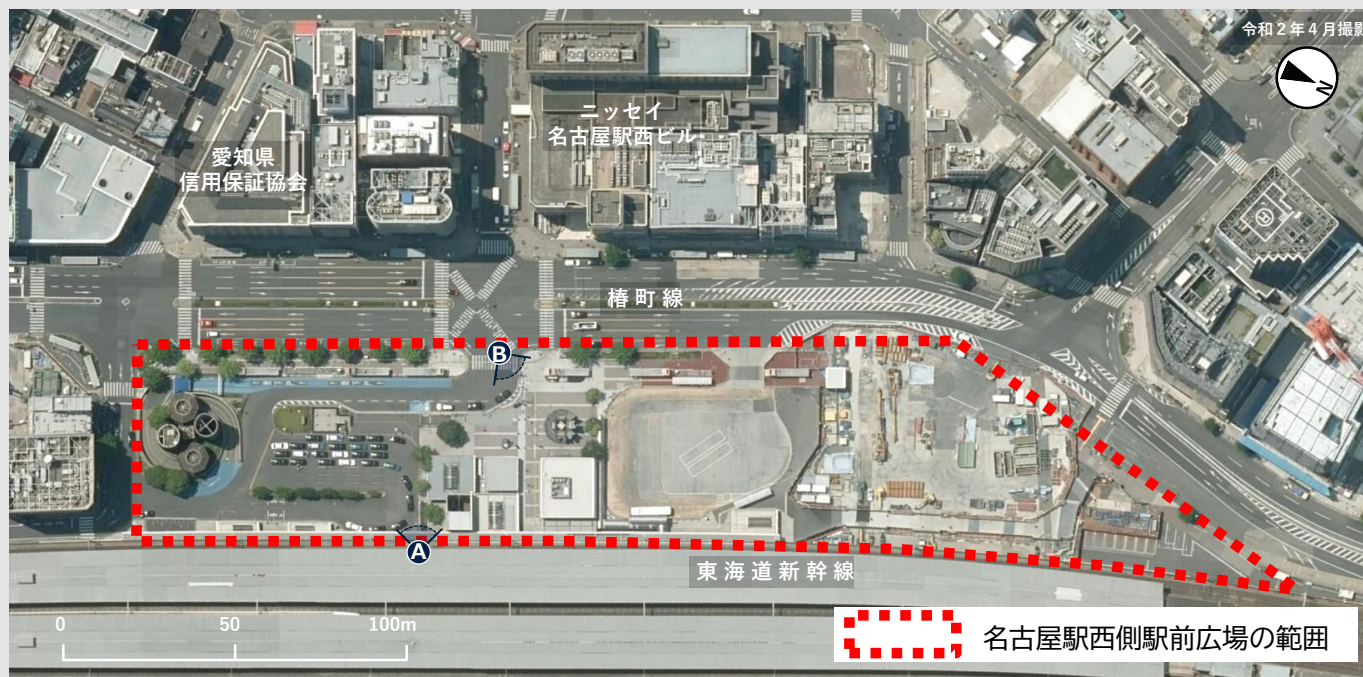
将来は、まちへの玄関口となる開放性の高い広場の確保や、交通機能の再配置、新たな都市機能の導入など、スーパーターミナル駅にふさわしい重層的な拠点の形成を目指す。

（注）交通結節機能について、隣接エリアの活用も含めた検討を行う

■ 西側駅前広場の現状と課題

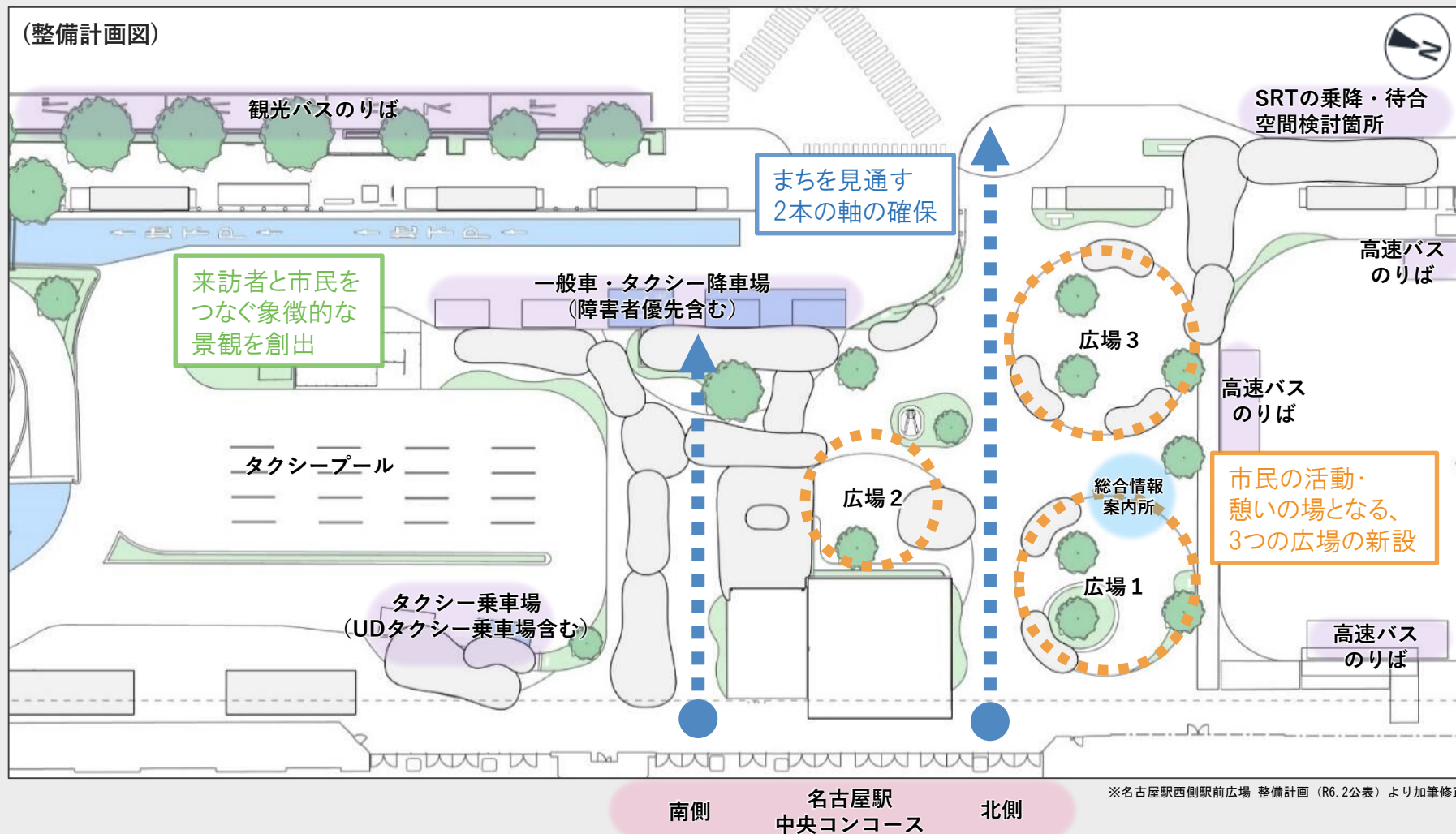
- 西側駅前広場は、まちへの見通し・動線の障害やターミナル駅にふさわしい魅力や都市機能が不足しているなど課題がある。

駅前広場の現状



■ リニア中央新幹線開業時の姿

名古屋の玄関口となる駅前広場は「名古屋の新しい顔」として、デザイン性が高く、居心地がよい場所で、多くの人に親しまれる空間にするとともに、国内外から多くの人を訪れる名古屋駅のにぎわいを西側のまちへと波及させていくための「回遊の起点」として整備する。



■ リニア中央新幹線開業時の姿



※名古屋駅西側駅前広場 整備計画（R6.2公表）より

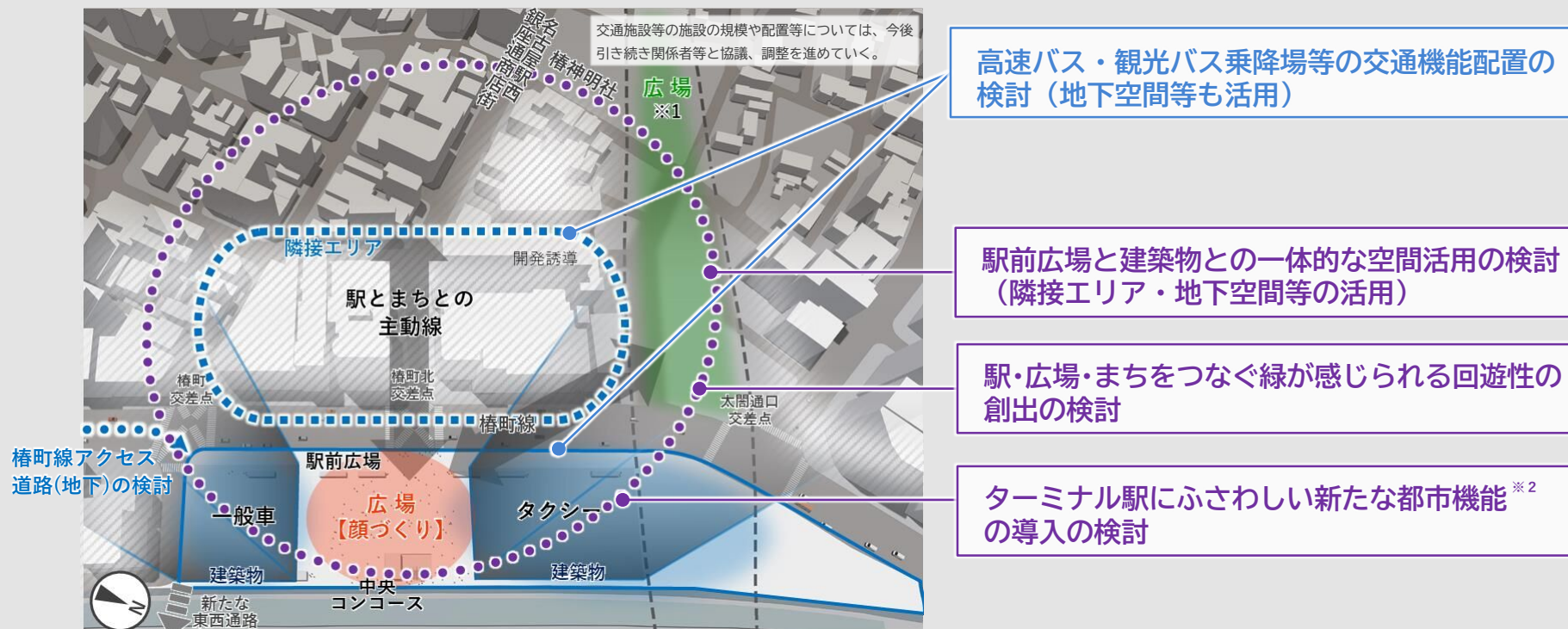
(取組スケジュール)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リニア中央新幹線開業時の姿	詳細設計 関係者協議	アジア・アジアパラ競技大会 開催時に向けた整備 ●まちへの動線・広場空間の確保 ●総合情報案内所の整備	供用	リニア中央新幹線 開業時に向けた整備 ●顔となる広場の整備 ●屋根・舗装・植栽等の整備 ●タクシースペースの改善	供用

■ 西側エリアの目指す姿

- 将来は、駅前広場の地下や上空なども活用し、高速・観光バス乗降場を含めた交通結節機能の立体的な配置や、総合案内機能を導入するなど、民間事業者と連携して、スーパーターミナル駅にふさわしい魅力的な拠点の形成を目指す

(検討イメージ)



(注) 「新たな路面公共交通システムSRT」と整合を図りつつ、乗降・待合空間の配置について検討する。

(注) 駅前広場内に昇降施設、自転車駐車場等を配置することを検討する。

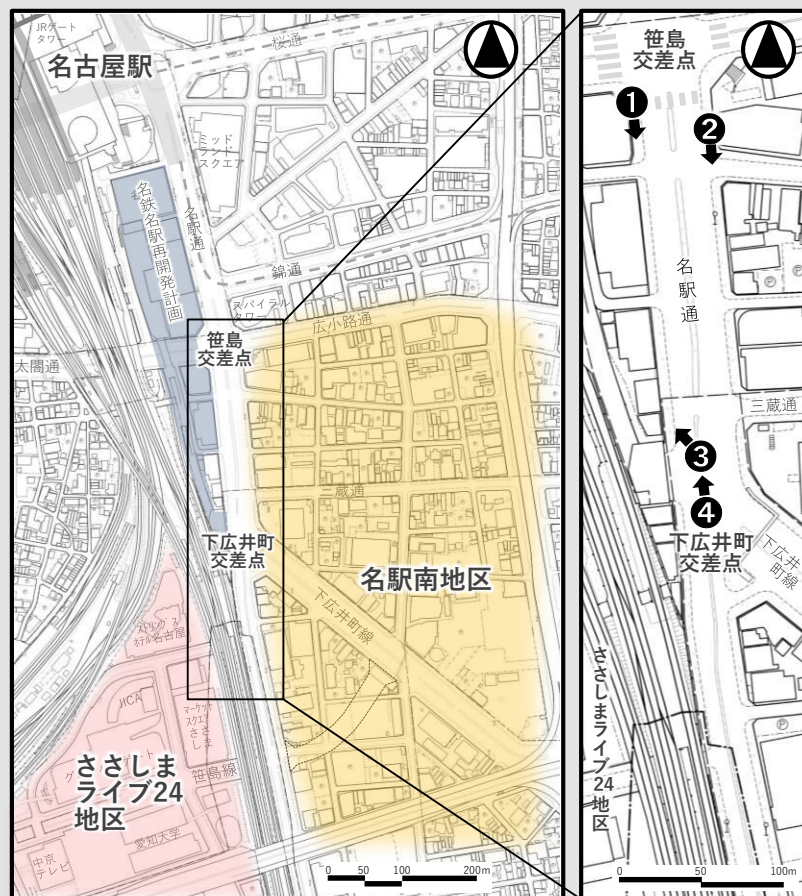
※1 広場・駅前広場内にリニア関連施設が配置される予定。

※2 総合案内(観光案内所・交通案内所等)、文化発信(コンサートホール・美術館等)、産業・ビジネス交流(MICE施設・ハイグレードホテル等)、オフィス等を想定。

3-(4) ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善

名古屋駅周辺の国際競争力の強化をはかるため、にぎわい創出とあわせ、名古屋駅からささしまライブ24地区や名駅南地区へのアクセス改善を推進する

■課題



① 歩行者と自転車の輻輳

■名駅通西側歩道



② 地下から地上へ上り、人であふれる歩道を通行

■名駅通東側歩道



③ 下広井町交差点の信号待ちによる滞留

■名駅通西側歩道



④ 名駅通による東西の分断

■名駅通車道



■取組み



名駅通西側歩道の拡幅 (A)

歩行者と自転車の通行空間を視覚的に分離し、歩行者の安全性を確保
(幅員6.5m→8.5m 令和4年8月供用)

■名駅通西側歩道



依然として歩行者交通量は多い状況

名駅通東側歩道の駐輪場の移設 (B)

歩行者空間の拡充のため、駐輪場の移設に向けた検討・調整を実施

名駅通等の横断機能の強化

地元要望に対応するため、横断機能強化に向けた検討・調整を実施

名駅南地下公共空間の整備 (C)

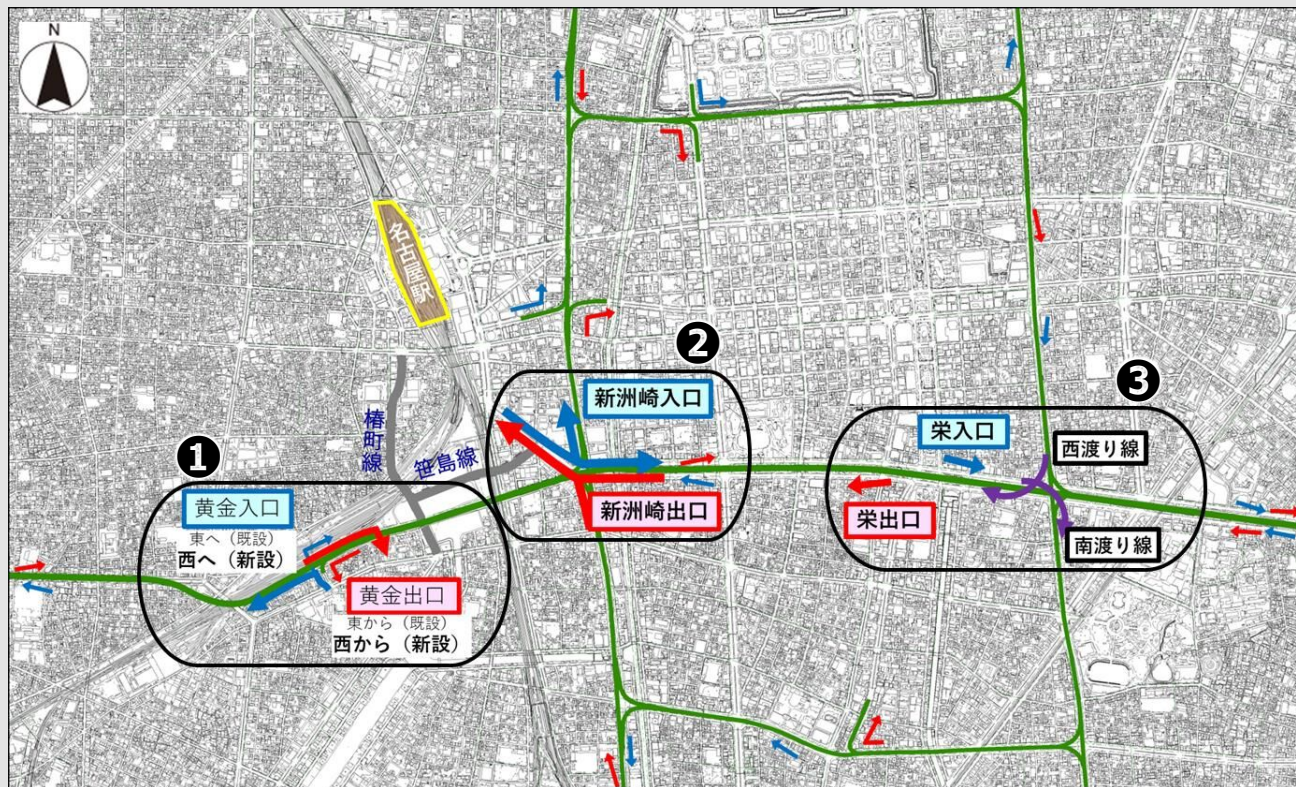
地下街等からの快適でスムーズな動線の確保、下広井町交差点の信号待ちによる滞留の解消、名駅通による東西の分断の解消等のため、地下公共空間の事業着手に向けた調整・基本設計等を実施

■下広井町交差点付近のイメージ



3-(5) 名古屋駅とのアクセス性向上（高速道路）

■ アクセス性向上の考え方



アクセス性向上の取組み

- ① (仮称)新黄金出入口の新設
- ② (仮称)新洲崎出入口の新設
- ③ (仮称)栄出入口、
丸田町JCT西渡り線・南渡り線
の新設

○整備効果

- ・ 都心環状線の渋滞解消
- ・ 名古屋駅へのよりスムーズなアクセス性向上
- ・ 名古屋駅から中部国際空港を始めとする南方面へのアクセス性向上
- ・ 都心部における自動車の集中緩和

<整備効果の例①>

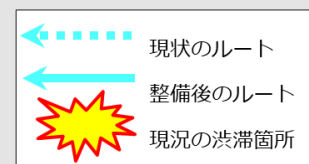
名古屋駅
↓
南・東方面
(中部国際空港等)



至 中部国際空港



至 中部国際空港



<整備効果の例②>

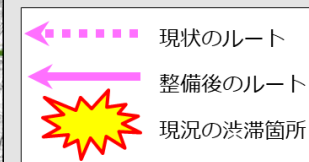
北方面
(県営名古屋空港等)
↓
名古屋駅



自 県営名古屋空港



自 県営名古屋空港



4. 関連プロジェクト

■まちづくりの基本方針

【基本方針1】

国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する
- (2) 玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める
- (3) ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する

【基本方針2】

誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する

【基本方針3】

都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく

- (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす
- (2) 人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める

【基本方針4】

リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する

安全性の確保

【P. 26】 名古屋駅周辺の 防災性の向上

災害リスクへ対応するため、帰宅困難者対策等を実施し、名古屋駅周辺の強靱化を図る

ビジネス拠点・交流拠点の形成

【P. 27】 都心部での都市機能誘導

容積率の緩和をインセンティブに、民間投資促進を図り、都市機能の導入を促進

【P. 28】 Nagoyaまちなか ウォーカブル戦略 〈Nagoまち戦略〉

居心地がよく歩きたくなるウォーカブルなまちづくりを推進

多彩な魅力を創出

【P. 24-25】 地区毎の特色を活かしたまちづくり

官民協働で地域のまちづくりを促進し、地域独自の個性を活かす

回遊性の向上

【P. 29-30】 新たな路面公共交通システム SRTの導入

都心部の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、賑わいの面的拡大を創出

4-(1) 地区毎の特色を活かしたまちづくり

■地元まちづくり団体等の主な取組み状況

名古屋駅地区街づくり協議会

- ・道路空間で広告事業を実施
- ・公共空間での清掃活動や花壇の維持管理
- ・賑わい活動（歩道を活用した社会実験）を実施

名古屋新幹線駅前商工連合会

- ・街路灯・防犯カメラの維持管理

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

- ・駅前広場及び西地区のまちづくりに関する検討
- ・名駅西TSUBAKIフェスタ（イベント）を開催

一般社団法人ささしまライブ まちづくり協議会

- ・各種イベントとの連携・実施
- ・シャトルバスの社会実験運行
- ・都市再生推進法人化の検討
- ・地区内清掃活動、広場維持管理



四間道・那古野界限まちづくり協議会

- ・「四間道・那古野界限まちづくり構想」の実現に向けた活動（勉強会の実施等）

名駅東花車・船入地区まちづくりの会

- ・「はなぐるままちづくり構想」の実現に向けた活動（勉強会の実施等）

名駅四丁目まちづくり協議会

- ・公共空間を活用したイベント等の開催
- ・地震体験&防災訓練、地区内の清掃活動

テラッセ納屋橋発展会

- ・公開空地を使用した魅力発信活動
- ・地区内清掃活動、防災訓練

名駅南地区まちづくり協議会

- ・道路・公園・民地空間を活用した社会実験の実施（クリエイティブチャレンジ）
- ・名駅南まち歩きMAPの作成・配布
- ・定期的な美化活動を実施（清掃活動・ハンギングバスケット）

■名古屋駅周辺の地域資源

柳橋



柳橋中央市場

- ・柳橋地区は、名古屋駅周辺の回遊性を高める重要な位置にある
- ・地域の食文化を支える柳橋中央市場を活かしたまちづくりの検討を進める



円頓寺・那古野・四間道



円頓寺商店街



円頓寺本町商店街



四間道

駅西



名古屋駅西銀座通商店街



太閤秀吉モニュメント
(太閤秀吉功路)

納屋橋



納屋橋・堀川

ささしまライブ



クルーズ名古屋



中川運河堀止地区開発 (イメージ)

名駅南



クリバコ



名古屋四季劇場

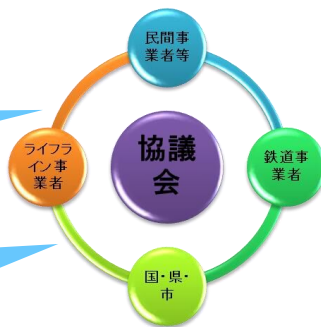
4-(2) 名古屋駅周辺の防災性の向上

■帰宅困難者対策

- ・名古屋駅は全国的にも重要なターミナル駅であり、大規模地震発生の際、最大20.6万人の滞在者・来訪者が見込まれ、そのうち、帰宅できず行き場のない帰宅困難来訪者が4.4万人となると想定されている
- ・発災直後の混乱を回避し、滞在者等にとって安全な街を目指すため、官民連携で「名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画」を作成し、帰宅困難来訪者を一時的に受け入れる施設（退避施設）の確保などに取り組んでいる

退避施設：46施設（約3.0万人分）
一時退避場所：26施設（約5.6万人分）

名古屋駅周辺地区安全確保計画部会
に61者が参加



防災アプリ



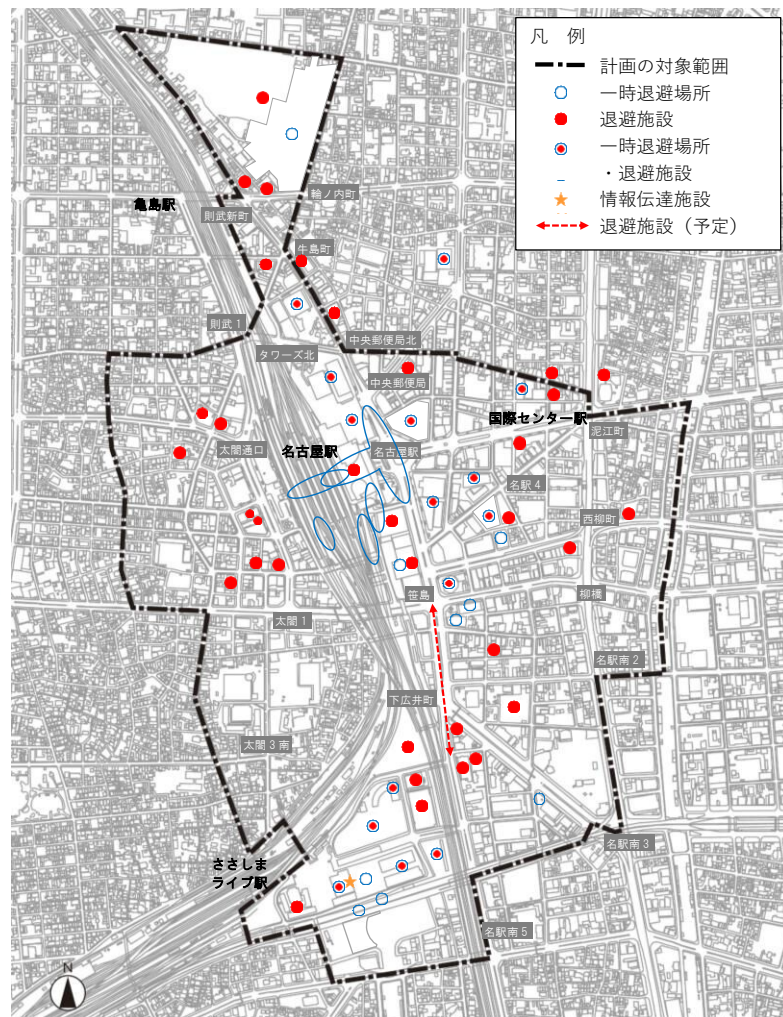
iOS版



Android版

- ・緊急の防災情報がプッシュ通知で届く
- ・大規模地震の災害リスクが表示できる
- ・一時退避場所 や 退避施設 を確認できる

〔一時退避場所・退避施設・情報伝達施設の位置図〕



第3次名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画（改定版）
（令和6年7月一部変更）

■都心部約350haにおいて容積率緩和をインセンティブに都市機能を誘導

名古屋駅・伏見・栄地区都市機能誘導制度

- ・指定容積率変更+地区計画により、土地の 高度利用+都市機能の増進を図る
- ・変更前の指定容積率を超えて建築する場合は、誘導用途の導入や公共貢献などの認定基準への適合が必要

★ポイント

認定とすることで個別の都市計画や許可よりも簡易かつ迅速に容積率を緩和

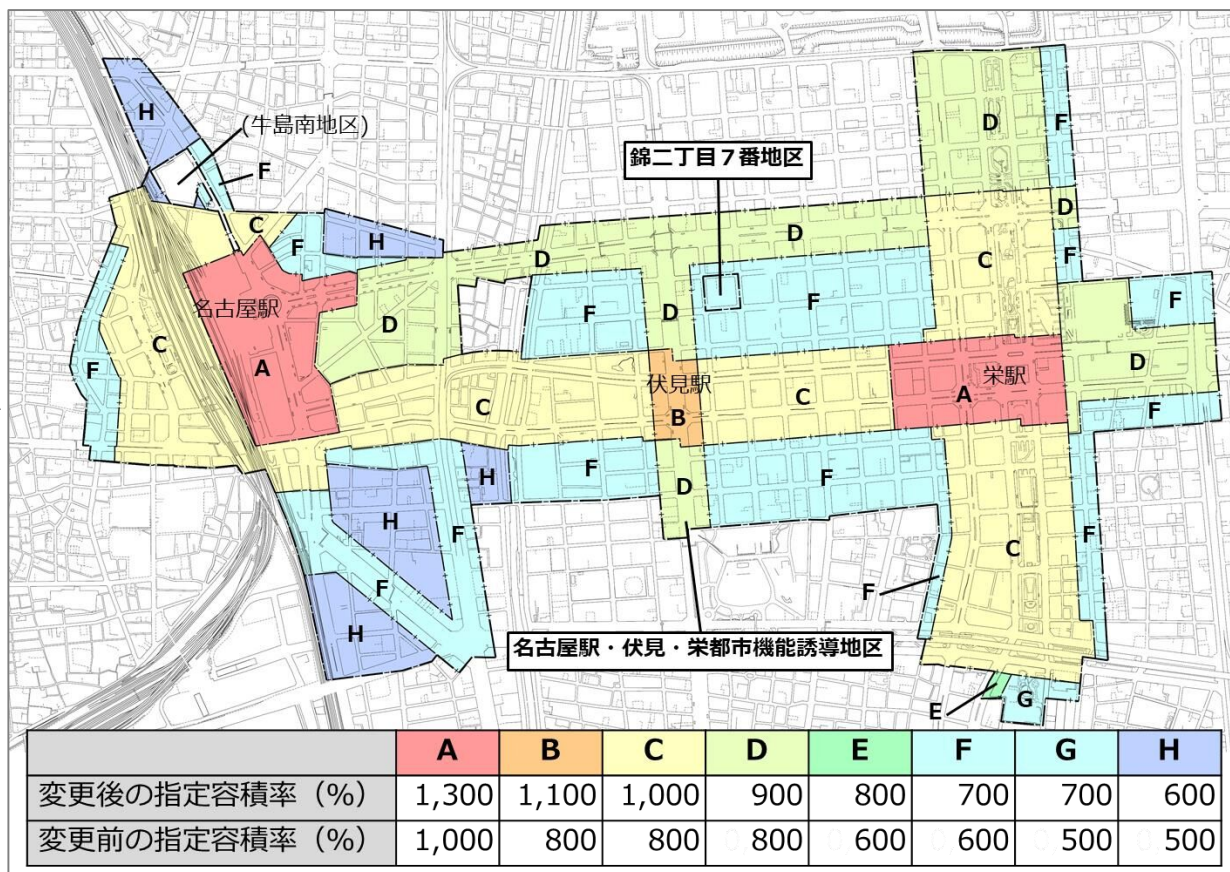
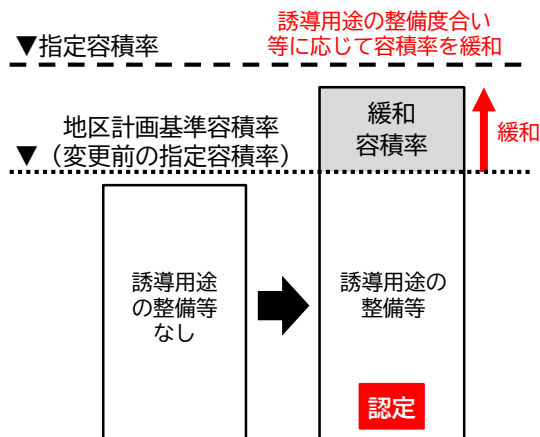
・誘導する都市機能（例）

【誘導用途】

劇場、イノベーション施設、ハイグレードホテル、低層階店舗（1階） など

【公共貢献】

緑化率20%以上の確保、オープンスペース整備 など



■ Nagoyaまちなかウォーカブル戦略〈Nagoまち戦略〉の推進

＜目指すまちの姿＞

居心地の良い特別な場所

サードプレイスあふれる「NAGOYA」

ー居心地の良さで選ばれるまちへー

●ウォーカブルなまちなかの実現に向けた戦略

「スペースをプレイスへ そしてエリアに」

以下のようなステップで取組みを展開していくことで、市内の各エリア（地域）の価値が向上し、結果として、都市全体にウォーカブルな空間が波及します。

STEP1

スペースを**つかう**ことで、思い入れのあるプレイスにする。

誰にとってどのような居場所となるのか考え、プレイスを**つくる**。

エリア
〈地域〉

プレイス
〈居場所〉

スペース
〈空間〉

STEP2

複数のプレイスを**ちかづける**ことでエリアの価値が向上し、地域力が高まる。

サードプレイスあふれるまちへ

名古屋市
〈都市〉

●ウォーカブルなまちを実現するための要素

居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちにするためには、ウォーカブルなまちを実現するための要素を、**地域特性**などを踏まえて、**組み合わせ**て活用することが大切です。

戦略1 官民のパブリック空間をつかう

- ① エリアマネジメント
- ② 道路空間活用
- ③ 公園活用
- ④ 公開空地活用
- ⑤ 低未利用土地活用



戦略2 新時代の都市デザインでプレイスをつくる

- ⑥ エリアリノベーション
- ⑦ 都市景観形成地区におけるアイレベルデザイン誘導
- ⑧ グリーンインフラの活用
- ⑨ 駐車場施策



戦略3 プレイスどうしをちかづける

- ⑩ 新たな路面公共交通システムSRT
- ⑪ モビリティ



●ウォーカブルなまちづくりプロジェクト

ウォーカブルなまちを実現するための要素を組み合わせ、市内各地で取り組む、ウォーカブルなまちづくりプロジェクトの取り組み状況を掲載します。

「プロジェクトの例」

◆ 名古屋駅地区

・リニア駅周辺 ・駅前広場周辺の再整備

◆ 名駅南地区

4-(4) 新たな路面公共交通システムSRTの導入

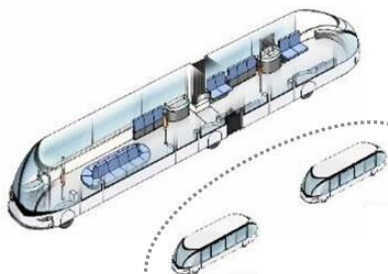
◆都心部における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、SRT (Smart Roadway Transit) を導入します！

「新たな路面公共交通システムの実現をめざして(SRT構想)」より(平成31年1月策定)

- ・都心における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となり、車両、走行空間、乗降・待合空間などが相互に連携したシステム
- ・技術の先進性による快適な乗り心地やスムーズな乗降、洗練されたデザインなどのスマートさを備え路面を走る新しい移動手段

車両

まちなかでの存在感やシンボル性があり誰もが安心して快適に乗車できる先進的な車両



走行空間

道路利用者の安全性や利便性に配慮しながら、存在感があり、スムーズで快適な走行環境を創出



乗降・待合空間

利用者がスムーズに乗降でき、快適に待てる空間とともに、歩道との一体性を高め、まちの情報案内機能を備えることで回遊性や賑わいを創出



◆今後、SRTの段階的な導入を進めていきます 「名古屋交通計画2030」より(令和5年3月策定)

リニア中央新幹線開業時にSRTの導入効果を最大限に発揮することを目指し、課題解決に必要な検証を行いながら段階的に導入を推進

当初運行時

- ・都心の中で特に移動が多い名駅ー栄間の「**東西ルート**」からSRTを導入
- ・周辺で大型の開発が進み、沿道に店舗などが集積している**広小路通**において、外観のシンボル性や車内の快適性を備えた**連節バス**を運行
- ・停車車両等の影響を受けにくく、賑わいの拡大につながる**テラス型の乗降・待合空間**を検討

運行内容の検討にあたっては、車両の走行や乗降・待合空間の社会実験を実施



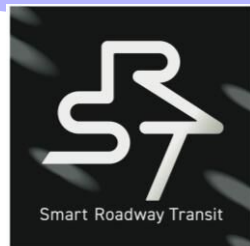
アジア大会開催時

- ・アジア・アジアパラ競技大会は、名古屋の魅力を国内外に発信する絶好の機会であることから、「**周回ルート**」の一部として**名古屋駅ー名古屋城**でも運行開始
- ・先行したルートの効果や課題を検証し、**最適な都心部周回ルート**の形を目指す

リニア開業以降

アジア・アジアパラ競技大会時に運行開始を目指す名古屋駅ー名古屋城ルート





シンボルマーク



SRTの乗降・待合空間
(イメージ)

令和7年度後半にSRT東西ルートが開始



SRTの導入により期待される効果

新たな都市魅力となる景観を創出

「都心風景の未来を先導」をデザインコンセプトに、まちなみと調和したトータルデザインを実施。SRTが名古屋都心部の新たな都市魅力となる景観を創出します。



名古屋都心部のメインストリート広小路通を走行するSRT (イメージ)

ウォーカブルな道路空間を形成

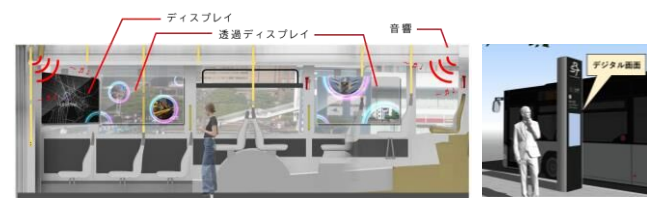
これまで、バス停付近で憩い空間と飲食等を提供した実験的な取組を実施。沿道の賑わい創出とSRTが一体となって、広小路通を中心としたグランドレベルの活性化を図ります。



沿道との賑わい創出に関するイベント (令和6年11月)

デジタルコンテンツの提供でまちへの回遊を誘引

トヨタ紡織(株)が開発中の技術(MOOX-RIDE)を先行的にSRTに実装し、新たな移動体験に挑戦。また、乗降・待合空間ではデジタルサイネージで来街者の回遊促進を促すコンテンツを発信していきます。



新たな移動体験「MOOX-RIDE」のイメージ

SRTデジタルサイネージ
(イメージ)